



TITLE:

はじめに

AUTHOR(S):

石井, 英真

CITATION:

石井, 英真. はじめに. 教育方法の探究 2019, 22: i-i

ISSUE DATE:

2019-03-25

URL:

<https://doi.org/10.14989/241656>

RIGHT:

許諾条件により本文は2020-03-26に公開

はじめに

教育学研究科の大学院改組により、2018年4月より、教育方法学講座は、教育・人間科学講座 教育方法学・発達科学コースとなりました。それに伴って、本号より、『教育方法の探究』は「教育方法学研究室」紀要という位置づけとなりました。そして、本号から「研究論文」「研究ノート」に加えて、「教職教育の探究」というカテゴリーを新たに創設しました。

2017年11月に教職課程コアカリキュラムが示され、それに基づいた教員養成が求められるようになる中、現在、教育学と教員養成のあり方が根本から問われています。教職課程コアカリキュラムの項目がそのまま論文のタイトルや研究主題とされるような状況すら見られます。教育学研究者は、教師教育者としての役割をどう担うのかという点を熟考しながら、研究的関心と実践的関心のはざまで、教職教養の追求に止まらない、自らの研究のあり方を探究していく必要があるでしょう。

そこで「教職教育の探究」としては、教育学研究の知見に照らして教職教養の内実を検討したり、教職課程等での自らの実践事例を研究的に対象化したりするなど、教職課程のカリキュラムと指導のあり方を理論的・実践的に探究する論考を掲載していきます。今回は、「生徒指導」概念の変遷を歴史的に整理した論考を収めました。また今号では、「研究論文」として、博士後期課程の大学院生による専門研究やフィールド研究に関する論考に加え、専修コースに所属する、現職派遣の、あるいは来年度から教員として採用予定の大学院生による、修士論文をもとにした非常に質の高い論文も掲載することができました。研究マインドをもって、現場においてリーダーシップを発揮されることを期待しています。

新たな内容を加え、教育方法学研究のあり方や教職教育のあり方を問うていきたいと思っております。紀要の内容についてご批評いただくとともに、今後とも教育方法学研究室へのご指導・ご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

2019年3月

教育方法学研究室准教授

石井 英真